

みなさんこんにちは、県立生涯学習推進センターメルマガ担当です。

我が家の次男（小学1年）は少々引き算が苦手なようで、宿題のプリントの答え合わせをしても、満点になることがなかなかありません。

そこで、長男長女（共に小学5年）が問題を作って補習授業を行っていました。その時のやり取りがコチラ。

長女：「魚屋さんに20匹の魚が並んでいました。すると、猫が4匹くわえていきました。今、魚屋さんには何匹の魚が並んでいるでしょう？」

次男：「……………、24匹！」

長男：「ん！？」

長女：「何で！？」

「4匹くわえていったんだから、16匹でしょ。」

次男：「違うよ！猫が4匹加えていったんだから、24匹だよ！！」

同じ部屋で、このやり取りを聞いていた私の頭の中には「裸足で追いかける陽気なサザエさん」の姿が浮かんでいましたが、「ほおー、『加える』ねえ、そういう考えもあるか…」と少し感心していました。

当センターでは、「情報メディア出前講座」を行っています。講座では、SNSでのトラブルの話の中で、「文字だけで思いを伝えるのは、とても大変なことなんですよ」という話をします。

先に挙げた、引き算の補習授業の一コマのように、顔を突き合わせて話をしていても、自分の発言が自分の意図とは異なる意味で他人に受け取られてしまうことは多々あります。文字だけのやり取りが主となるSNSでは、なおさらのことでしょう。実際、SNS利用者が多い20代以下では、約26%がSNS上でのやり取りでトラブルに遭遇しているそうです。

理由は「自分は軽い冗談のつもりで書き込んだが、他人を傷つけてしまった」などと、些細な書き込みが自分の意図とは違う伝わり方をしてトラブルを招くケースが多いようです。

ちょっとした一言で、大きなトラブルにつながったり相手を深く傷つけてしまったり…。

私自身、気をつけなければと思ったのは「子供を叱るとき」。叱っているつもりが、いつの間にか感情に任せて怒っているというような時があり、そんな時はキツイ言葉を言ってしまうかもしれないので、言葉や表現には十分注意していかなければならないと感じました。

ちなみに、この補習授業は、更にちょっとしたやり取りがありましたが、最終的に、長男の「今は引き算の勉強してるの！」で終わり、次男は、まだ納得がいかない様子でした。

改めて、伝えることの難しさ・大変さを感じると共に、自戒の念を抱かされた一場面でもありました。

最後に、実際に「LINE」であったトラブルの例を紹介します。Aさん・Bさん・Cさんのやり取りについてですが、Cさんの発言に注目して読んでください。

#### 【誤解の例】

(例1) Aさん：「明日、駅前に遊びに行こうよ！」

Bさん：「私も行きたい！」

Cさん：「何で来るの？」

(例2) Aさん：「1組の〇〇君、ステキ！！」

Bさん：「オシャレだね」

Cさん：「〇〇君、カッコよくない」

(例3) (失敗したAさんに対して)

Aさん：「ごめん、私のせいで…」

Bさん：「気にしなくても平気だよ」

Cさん：「Aさんは友達じゃない」

みなさんは、Cさんの発言をどのようにうけとりますか？家族や身のまわりの人と話し合ってみてはいかがでしょう。

☆子育てに関する悩みを一緒に考えます☆

子育て電話相談「すこやかダイヤル」 0198-27-2134

☆メルマガへのご感想、アドレス変更・配信停止はこちらへ(^\_^)/

[kosodatem@pref.iwate.jp](mailto:kosodatem@pref.iwate.jp)

★=====★

【発行・文責】岩手県立生涯学習推進センター

【HP】<https://manabinet.pref.iwate.jp/hp/>

【Twitter】<https://twitter.com/manabinetiwate>

★=====★